

式 辞

令和三年度畿央大学前期卒業証書・学位記授与式において、それぞれの証書と学位記を授与される卒業生、修了生の皆さん、誠におめでとうございます。

学部長、学科長、事務局長をはじめとする教職員のご列席を賜り、卒業証書・学位記授与式を挙行し、皆さんの門出をお祝いできることは、畿央大学としても大きな喜びとするところであります。

さらに、この日を迎えるにあたり、これまで長きにわたり卒業生・修了生の皆さんを見守り、励まし支援されてこられたご家族および関係者の皆様方にもお慶びとお祝いを申し上げます。

さて、証書・学位記を受けられる皆さんは、学生生活の総仕上げの時期に、コロナ禍の状況下で過ごすこととなり、大きな戸惑いと困惑があったことと思います。

また、学びや研究、課外活動、また社会生活の一変は、予期せぬ学生生活をもたらしたことでしょう。

本学に入学されたころのことを思い出してください。学部に入學された皆さんは、長かった受験勉強を終え、将来への夢と大学への期待といくばくかの不安をもって入学されたことと思います。博士の学位を授与される皆さんは、学位取得を決意されたころのことを思い起こしてください。

その時に持っておられた将来への夢は、実現に向けて具体的になり、皆さんは今日、その道に歩み出す出発の日を迎えられました。

在学された期間中に夢の実現への道筋をつけることができたのは、これまでの皆さんの努力と研鑽によることは勿論ですが、先生方のご指導と職員の方々のご支援、そして切磋琢磨した学友の皆さんがいて、初めて達成できたことであることを深く心に刻んでいただきたいと思います。そして、これからの人生において、お一人おひとりの夢の実現に向かって歩み続けていただきたいと切に願っています。

皆さんが歩まれる社会は、今、大きな変革期にあります。今回の新型コロナウイルス感染症の拡がりとその防止対応により、その変化がさらに加速されています。皆さんも学びや研究の最後の段階で当惑されたかと思いますが、教育環境の急変を経験されました。人類の歴史に学べば、社会構造と価値観の大きな変化を伴って新しい社会が到来するでしょう。

このように大きく変わりつつある社会の中で、夢を持ち新しい社会で貢献し続けられるには、皆さん自身がこれからも、生涯にわたり成長し続けられることが必要です。

生涯にわたる成長のキーは、「学び続ける」ことです。専門分野の知識と、専門に限らない教養知識を学び続けることについて、「深く」かつ「広く」学び続けていただきたいと思います。そのために次の三点を意識してください。

一つ目は、知識を体系として捉える視点です。専門分野の知識は、個々の事象や部分に関する要素をまず理解することが必要です。さらに、個々の要素が互いにどのように関係して機能しているのかを知ることが必要です。それらがどのように関係しているかが分かると、その分野の専門知識を体系的に理解することができます。体系的に把握できるようになると、全体が見えてきます。教養といわれる知識についても、興味関心の対象、それは一つとは限らないでしょうから、それら全体を見るときには体系的な視点も大切です。

全体を捉える体系的な視点を持ち、その「全体」とは何かとの疑問を持つと、知識は抽象的な知識、「メタ知識」に高まります。

一方で、体系的な知識は、それを現場でどのように使うのか、問題の解決にどのように適用するのか、ということに結び付けると、より実践的な知識、確かな技術となります。

二つ目は、知識を「学ぶ」姿勢について、「分かる」ということを意識して欲しいということです。技術を含めた知識は、人類の文化の歴史の中で先人たちが見出し、形にしてきたことです。知識を学ぶ際に、なぜそうなのかと考え、理解し身につけることが必要です。それには、この知識は、「何なのか」という疑問を常に持ち、深く考え続けることが重要です。それが、深く理解することになり、自分自身で「分かる」ということの連鎖ができます。

「深く」かつ「広く」学ぶこと、体系的な理解の追求と疑問を持ち続ける学びの姿勢は、建学の精神の一つである「知をみがく」ことの具体的な実践であると考えます。

三つ目は、学んだ知識を大切にし、その知識をデジタル化し、パーソナルな知的財産として生涯にわたり成長させていただきたいということです。

情報通信技術の急激な発展と利用の拡大に伴い、ネット上には膨大な情報が存在します。畿央大学での学びの過程では、ネット検索などにより専門に関する情報を収集し、学習知識や技術として利用してきたと思います。しかしながら、ネット上にある情報は、追加・更新・削除され、変化し続けています。

畿央大学での学ぶ過程で利用した情報や、デジタル化されている専門知識と技術、さらに学習記録は、大切な個人の知的財産ですので、それらを整理して保存し、活用して下さい。そして日常の仕事の中で、常に新しい情報を追加し、パーソナルな知的財産として成長させてください。それらを「成長する個人の知のアーカイブ」として大切に育てていただくことを期待いたします。

証書・学位を受けられた皆さんが、今後社会においても学び続け、人間としてさらに成長されることを心から期待しております。そして、自分自身の行いや、人生のあり方を振り返る際には、建学の精神「徳をのばす」、「知をみがく」、「美をつくる」に立ち返り、ご自身のあり方を見直していただければ、建学の精神が皆さんの成長を図る良い物差しになると思います。

これから皆さんが進まれる道はそれぞれ異なりますが、これからも、畿央大学で育んだ人と人とのつながりを大切な絆として歩んでください。

皆さんが畿央大学の卒業生・修了生として誇りを持って活躍し貢献されることを重ねて期待いたします。

本日は誠におめでとうございます。

令和三年九月二十二日

畿央大学 学長 冬木正彦